

II. 1. 刊行物等

○ 紀要『言語文化研究』

『言語文化研究』第49号(2023) 目次

【学術論文】

- 植田 晃次 日本近代朝鮮語教育史の視点から見た島井浩と朝鮮語
— 対馬から釜山の日本人社会に渡り一生を送った人—
- 岡本 淳子 スペインの劇作家アルフォンソ・サストレと検閲
— 1950年代後半以降の上演許可申請をめぐる—
- 坂内 千里 『説文解字繫傳』「通論篇」考(二)
- 霜鳥 慶邦 虹の向こう側の「世界」
— D・H・ロレンス『虹』と帝国主義—
- 高橋 健一郎 ニコライ・メトネルの音楽哲学におけるメタファー体系
- 濱田 洋輔 漱石の文学理論:
文学者の営みという観点から見たその基礎と道德観
- 宮本 隆史 英領インドの文明化の使命と監獄改革: 北西州における監獄行政の導
入と展開

【研究ノート】

- 大塚 行誠 ティディム・チン語の中動態標識 ki3- に関する覚書
- 北田 信 【翻訳】ダカニー・ウルドゥー物語詩『愛の花園』より
- WILLIAMS Richard 宴席の装飾, 絵画と絨毯, 音楽と舞踊
- 宮原 暁 エスノグラファーは「書くことが躊躇われること」をどう記述し得るか
— ある華僑の経歴に関するテクストをめぐる—
- 林 貴哉
- 岡野 翔太(葉 翔太)
- 矢元 貴美 フィリピン語の動詞を伴う存在文と所有文の誤用分析
— 中級学習者の文における文法上の正確さに着目して
- MIYAWAKI, Satoshi 203 Discourse of the Catholic Church in the Philippines on the National
Elections since 2009: An Analysis of CBCP Pastoral Statements
- RUIZ, Frieda Joy Angelica Definition of “Filipino Roots” among Filipino High School Students
in Osaka through Analysis of Speech Contest Scripts
- Olay

○ 言語文化共同研究プロジェクト 2022 目次

『自然言語への理論的アプローチ』

- 越智 正男 Notes on Plural Elements in Japanese: a Labeling Approach
邱 暁石 *De* as an Atelic Marker of Mandarin Chinese
張 雨辰 Single Sentences With *Jiu1* (就) Are Not Identical to Conditional Sentences:
Testing *jiu1* in downward-entailing environment
中野 晃希 焦点構造における繫辞の統語的分類
三藤 博 思考の言語と thought structure
宮本 陽一 Disjunction and the Type of Subject in the Kumamoto Dialect: A Pilot Study
山田 彬堯 「です」の分類 Elsewhere form としての丁寧語

『認知・機能言語学研究Ⅷ』

- 王 鈺 現代日本語の分離動詞における 2 種類の一体性について
蘇 暁笛 日本語の語彙的複合動詞「V1+詰める」の意味形成とその認知的メカニズ
ム
田尾 俊輔・梶原 久梨子 Locative Sense “Point” of the English Preposition *At*: A Comparison with the
French Preposition *À*
瀬戸 義隆 BA Imperative Conditional in Modern Japanese: With a Focus on Distributional
Aspects
三野 貴志 Number Disagreement in *There* Sentences with Existence Verbs
葉 哲哉 現代日本語の「X-ぶり／-っぶり」に関する意味分析

『Cultural Formation Studies V』

- 木村 茂雄・小杉 世 はじめに
Amin Ghadimi India in the Formation of Japanese Terrorism
Natsue Ambo The Necessity of Gender Difference for AI: In Ian McEwan’s *Machines Like Me*
Md. Mamunur Rahman Transcultural Translation Experience: On Translating Yasunari Kawabata’s *Snow*
Country into Bengali
伊勢 芳夫 1930 年代の日・中の「歴史」創作について (1)
——「満洲国」言説の知の考古学的分析——
小杉 世 アレクシス・ライト『地平線の叙事詩』
——先住民文学と難民文学をつなぐ水平（地平）線——

『「文化」の解説 (23) —文化とコミュニケーション—』

Oliver Aumann 李 潤澤	Das Dao der Daoisten —Versuche über das Unsagbare zu sprechen— 女が満洲を語る時 ——田中絹代『流転の王妃』（1960）を中心に——
徐 玉	女性スター共演の力学 ——『千羽鶴』（増村保造 1969）における女同士の関係——
山本 佳樹	プラッテンバウが運ぶ夢 ——東ドイツの住宅政策とデーファ映画——
胡 響楽	足のない鳥の傷はいかに語られるのか ——『欲望の翼』（ウォン・カーウァイ 1990）におけるトラウマの表象——
津田 保夫	村上春樹と濱口竜介の『ドライブ・マイ・カー』 ——小説と映画の比較考察——
西出 佳詩子	学習成果発信型のリアルタイムオンライン授業 ——動画作成を取り入れたドイツ語授業実践——

『テキストマイニングとデジタル・ヒューマニティーズ 2022』

田畑 智司	プロジェクトの目的と活動
菅原 裕輝	南三陸の復興に関するハイパーリンク・エスノグラフィ
藤田 郁	A Study on Characteristic Sounds in Tennyson and Browning: Using Stylometric Approaches
涌井 萌子	匿名政治パンフレットの計量的分析 —「レ枢機卿のマザリナード」の帰属検証—
曹 芳慧	Tess of the d'Urbervilles の会話部による キャラクターライゼーション

『言語文化の比較と交流 10』

田中 智行	『金瓶梅詞話』所引「黄氏女卷」訳注稿
中 直一	森鷗外訳「戦僧」について —翻訳底本との対比に見る鷗外訳の特質—
三浦 あゆみ	Reception of Latin vocabulary and introduction of new words in <i>An Alphabet of Tales</i>
渡辺 貴規子	大正初期における翻訳少女小説の一様相 —エクトール・マロ原作『家なき娘』の初の邦訳をめぐって—

『応用会話分析研究 2022—ニューノーマルの達成・獲得を可視化する—』

岡田 悠佑	「欠落した相互行為資源」を用いたアイデンティティの達成
-------	-----------------------------

古川 敏明	—学生間英語オンラインビデオ会議における語彙探索連鎖の分析— 言語再活性化運動とニューノーマルの実践
石野 未架	—コロナ禍のハワイ語ウェビナー‘Ai Kole を事例として— 発言順番交替の規範にみるオンライン授業の「しんどさ」の記述 —大学生の英語ディスカッション場面を対象に—
勝部 三奈子・久次 優子	ハイフレックス型授業におけるディスカッション —対面の学生による参加の管理—
福島 玲枝	英語初級学習者同士が「発話を構築する」ための手段 活動制限下での振 る舞いが示唆する外国語活動の可能性
菊池 春花	Locally Justifying Face Mask Removal in L2 Read-Aloud Sessions

『時空と認知の言語学XII』

井元 秀剛	自然言語で連言をあらわす「または」の意味について
王 周明	日本中国語教科書の形式および内容変遷による啓示 (二) —拼音採用以前の中国語音声表記法ほかの実態概観—
高橋 克欣	談話解釈における時況節 <i>alors que</i> 節の機能
瀧田 恵巳	『デュランデ城』におけるダイクシス (その1) —版によって <i>her-</i> と <i>hin-</i> が入れ替わる事例を中心に—
春木 仁孝	現代フランス語における二次的な色彩を表わす表現について — <i>couleur</i> を中心に—
渡辺 伸治	<i>hin/her+gehen/kommen</i> の考察 —ニーベルンゲンの歌とトリスタンの原文/現代語訳を資料に—

『応用言語学における理論と実践 —研究と教育を通して—』

西田 理恵子	外国語学習者エンゲージメントの基本的概念：主体的学びへの導き
Lee Shzh-chen Nancy	Effects of form-focused instruction on EFL speaking development— Changes in syntactic accuracy over time
綱澤 えり子	言語学習における学習者信念研究の概観と展望

『レトリックと文法』

大森 文子	鏡と水仙 —シェイクスピアの <i>Sonnets</i> における隠されたレトリック —
渡辺 秀樹	<i>Hamlet</i> における動物名の繰り返しと列挙の意味 — 翻訳で失われるメタファー義の問題、そして雲の場を中心に —

- 村上スミス アンドリュー 翻訳手順の「補償」
— 翻訳で失われたものを補うために —
- 中嶋 浩貴 英語名詞由来 *er* 名詞の予備的考察
- 福本 広光 John・F・Kennedy の演説にみられる分離不定詞のレトリック効果
- 中村 瑞樹 規則に沿って生きること
— アメリカ文学における野球規則を読む —
- 竹森 ありさ 色彩語 *red* を含む強意直喩表現の分析
— *red as blood / fire / rose* の比較 —
- Doan Ngoc Minh Tran フレーム意味論と直接スコープから見たベトナム語、日本語および英語の感情概念
— ベトナム語の *giận*、日本語の「怒り」、英語の *anger* を比較して —
- 山倉 佐恵子 期待値からみた取り立て助詞
— 複合表現シハシナイの特徴をめぐって —
- Luke Malik Elizabeth Camp's Misreading of Davidson's Theory of Metaphor

『表象と文化 XX』

- A. C. Дыбовский образы Токио в популярной японской песне (1)
遠藤 祐輔 デジタル／フィルム写真論の再考
— 内原恭彦のデジタル写真実践の先見性を通して —
- 林 千宏 ロンサール『恋愛詩集』(1552-1553) とニコラ・ドニゾ
- 川村 明日香 語りの変容による自己言及性の創出
— ディズニー映画『くまのプーさん』と「本」 —
- Salagnon Benjamin Travail en autonomie et intelligence artificielle :
quelques exemples d'utilisation de ChatGPT dans l'apprentissage des langues
- 篠原 学 小説の技術とモラル
——ミラン・クンデラの大江健三郎評——

『英語教育の新たなる実践に向けて(2)』

- 日野 信行 言語・文化・教育
— 実践と研究から —
- 小田 節子 中学校英語教員養成課程における発音教育
- 服部 拓哉 A Literature Review of English, Japanese, and Chinese Intonations
- 小口 一郎 Towards Interactive Dynamism: A Recent Current in Academic Writing Studies

『批判的社会言語学の現在』

- 呉 素汝 グローバリゼーション下の台湾「バイリンガル国家政策」
山下 仁 ジークフリート・イエーガーの装置分析の可能性
— 野呂香代子によるメルケル批判を例に —
周 氷竹 仮想のシナリオから見る障害者から障害者へのまなざし
— 複数の障害を持つ人の語りへの一考察 —
上田 直輝 (UEDA, Naoki) Unterscheidung von Sprachen und Dialekten
Warum ist das nur arbiträr möglich?
植田 晃次 「旧朝鮮語学」と「戦後」の朝鮮語教育の断絶と連続性小攷
— 残された学習書を手掛かりとして (1945-1965) —

『音声言語の研究 17』

- 梅野 真実 H[aei]tus?
郡 史郎 宮崎の「無アクセント方言」の談話音調
— 青島地区の場合 —
夏目 琢磨 Phonological analysis of consonance: A case study of a 19th-century poet's
works

『ことばと社会②』

- 榎本 剛士 「クオリア」について
— コミュニケーション分析に援用するための理論的基礎考察 II —
張応謙 インタビューナラティブにおける差別の表象
— 新型コロナウイルス体験談における地域的差別を例に —
セメノワ・アナスタシア Our girls started to get lost”:
How female sexuality is discussed in ethnic talk-show

○言語文化共同研究プロジェクト 2024 一覧

整理 番号	共同プロジェクト名	研究代表者氏名
1	テキストマイニングとデジタル・ヒューマニティーズ 2024	田畑 智司
2	応用言語学における理論と実践 -研究と教育を通して-	西田 理恵子
3	ことばと社会④	泰 かおり
4	Cultural Formation Studies VI	ガデミ アミン
5	自然言語への理論的アプローチ	ヤン ムイ
6	認知・機能言語学研究 X	小栗 哲哉
7	「文化」の解説 (25) -文化と情報-	山本 佳樹
8	言語文化の比較と交流 12	佐高 春音
9	時空と認知の言語学 XIV	王 周明
10	表象と文化 XXII	林 千宏
11	応用会話分析 2024-政治経済外交の相互行為実践 2-	岡田 悠佑
12	"The Rhetoric IS the Message" 「レトリックはメッセージである」 -修辞・意味・認知の関わり-	村上スミス・ アンドリュー
13	批判的社会言語学の地平	植田 晃次
14	音声言語の研究 19	山本 武史